

授業概要

本講義では、乳幼児期における心身の発達について、発達の基礎、身体・運動の発達、知的な発達、発達の支援、人格的発達、発達の診断、発達と教育について講義し、乳幼児を取り巻く環境を踏まえて個々の発達について理解できるよう講義する。

加えて、乳幼児を取り巻く、親子関係、こども同士の関係と心理的発達について発達心理学の理論を踏まえて講義する。必要に応じて視聴覚教材を用いて、ディスカッションやロールプレイ等の演習を取り入れ、体験的に理解が深まるように進める。乳幼児の発達について理解を深め、対象者への支援に活用できる様に講義を行う。

授業計画

第 1 回	乳幼児心理学の概要とガイダンス
第 2 回	発達の基礎：発達の意義、要因、傾向
第 3 回	発達の推移：発達段階、発達課題
第 4 回	発達の特質：乳児の発達、幼児の発達
第 5 回	身体的な発達①：身体の発達、運動機能の発達
第 6 回	身体的な発達②：性的発達、基本的生活習慣の発達
第 7 回	知的な発達①：感覚・知覚の概念、記憶の発達、言語の発達
第 8 回	知的な発達②：創造性の発達、描画の発達
第 9 回	社会的な発達：遊びの発達、道徳性の発達
第 10 回	人格的な発達：情緒と欲求の発達、自我の発達
第 11 回	乳幼児の発達と環境：家庭環境、地域社会、保育施設
第 12 回	乳幼児の発達と診断：診断の基本的な視点、観察・面接・検査による診断
第 13 回	乳幼児の発達と援助：相談面接法、遊戯療法、表現療法、行動療法
第 14 回	乳幼児の発達と問題：身体・運動面、生活習慣、社会性、情緒・性格
第 15 回	乳幼児の障害・教育の基礎
第 16 回	期末試験

到達目標

- ① 乳幼児の発達に関する基本的な知識（発達段階、発達課題、心身の発達、感覚・知覚の発達等）を理解し、個々の発達や適応に関する理解を深め、支援のあり方を身につける。
- ② 乳幼児を取り巻く諸問題と様々な人々との関係を理解し、関わり方や支援の仕方を理解する。

履修上の注意

- ・授業内で行う演習課題は、授業終了時、提出期限内に提出すること。
- ・ディスカッションやロールプレイには積極的に参加すること。
- ・受講生の積極的な受講態度や発言を重視するので、受け身な態度で受講することはできません。
- ・授業の内容に応じて適時プリントを配布するので、参考資料の管理を行う。

予習・復習

[予習] 乳幼児の発達とその支援に関する関心と問題意識を持って授業に臨むこと。

[復習] 乳幼児を取り巻く生活環境と家族に関わる機会を積極的に求め、実践につながるよう努力すること。

評価方法

授業への参加態度（30%）。授業内課題（20%）。学期末試験（50%）に基づいて評価を行う。

テキスト

- ・教科書名：乳幼児のための心理学
- ・著者名：編集：小林芳朗
- ・出版社名：保育出版社
- ・出版年（ISBN）：978-4-938795-74-0